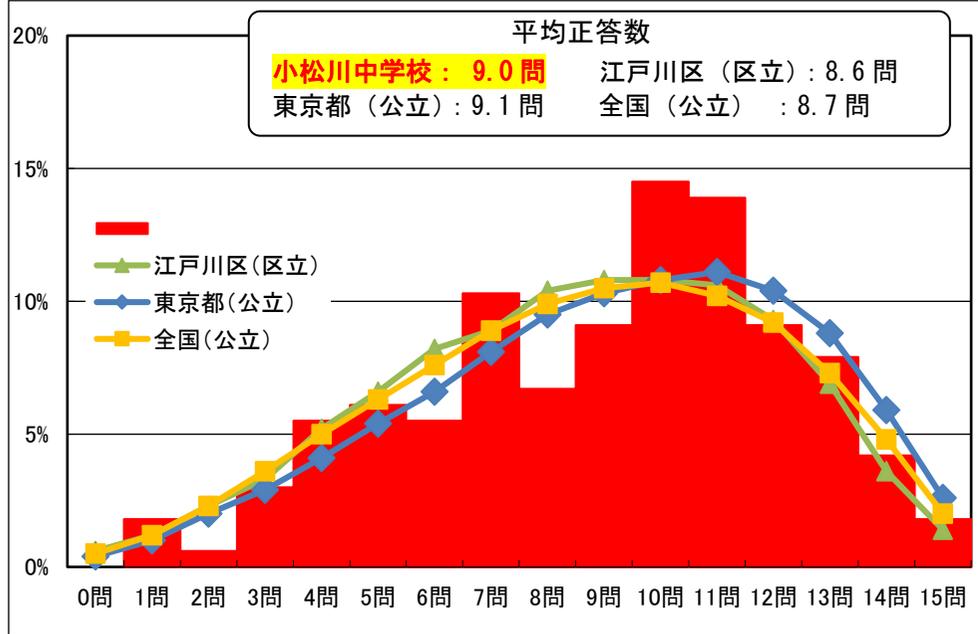
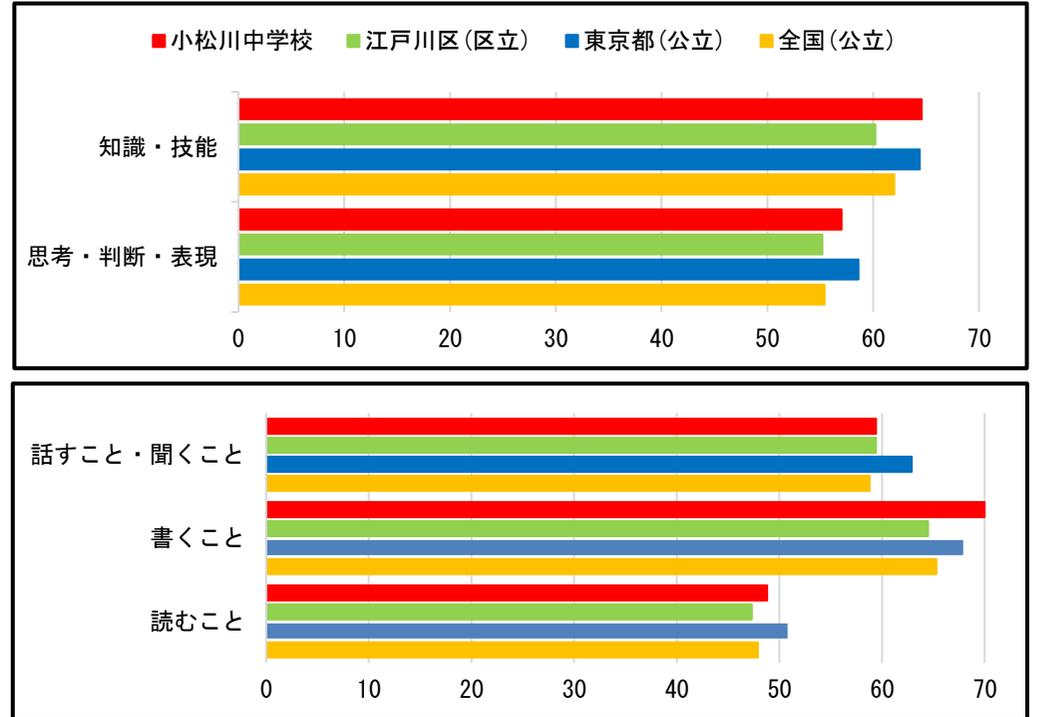


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 小松川中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
小松川中学校	23	37.5	17	22.5
江戸川区(区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都(公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国(公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

小松川中学校	60%
江戸川区(区立)	57%
東京都(公立)	61%
全国(公立)	58.1%
都との差	-1ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

書くことの領域において、都平均を越えている。しかし、その他、特に話すこと、聞くことに関しては全国平均に達しているものの比較的低い。

伝えたいことを明確に、かつ論理的に組み立てて話したり、相手の伝えたいことを的確に捉えたりするためにも、対話的な授業改善に努めていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。